

ニューヨーク市衛生局プレスリリース(仮訳)

(4月26日午前11時30分)

ニューヨーク市内における豚インフルエンザ(Swine Flu)の発生

[本文]

- CDC の検査の結果、私立セント・フランシス高校（クイーンズ）で豚インフルエンザの発生が確認された。同校は月曜日は休校する。この患者の症状は落ち着いており、多くは既に快復に向かっているが、メキシコで発生した類似ウィルスでは死に至っている。
- ニューヨーク市内で他の症例及び集団感染は確認されていない。
- 米国の患者は全て既に快復してきている。衛生局の調査では、全市的に流行するとは見られていない。ブロンクスのデイケア施設で児童が集団で病気になった事例の調査では、（豚インフルエンザと）疑われるいかなる症例も確認されていない。
- クイーンズでの調査は、セント・フランシス高校で 100 人以上の生徒が発熱と喉の炎症を含むインフルエンザに似た症状が確認された先週から開始された。衛生局公衆衛生研究所は 9 名の鼻と喉を検査し、うち 8 名からインフルエンザ A 型の陽性反応がでた。しかしそのときに利用可能だった検査方法では、ヒト型インフルエンザの変種（H1 型及び H3 型）と適合した。衛生局は、豚インフルエンザの疑いがあるとして土曜日に CDC（アトランタ）に検体を送った。その検査により、豚インフルエンザが確認された。
- 豚インフルエンザは、豚のインフルエンザ A 型の呼吸器感染によって周期的に引き起こされる。ヒトには普通は感染しないが、かかることはある。ヒト感染は豚との直接接触により起こるのが典型的だが、この度カリフォルニア、テキサス、メキシコ、ニューヨーク市でヒトヒト感染と思われる症例が報告された。メキシコでは高い致死率をもたらしているが、米国での症例は容態が穏やか(mild)であり、全ての患者が快復してきている。豚インフルエンザの症状は周期的に発生するインフルエンザの症状に似ており、発熱、咳、喉の炎症、体の痛み、頭痛、寒気、疲れやすさである。下痢と嘔吐も幾人かから報告されている。
- 呼吸困難のような深刻な症状があるニューヨーク市民は病院で手当てを受けるべきだが、そうでない場合は自宅療養を衛生局としては推奨する。
 - 特に咳や鼻をかんだあとは、石鹸と水で頻繁に手を洗うこと。アルコール性の洗浄液も効果的である。
 - 病人への接近は避けること。
 - 病気になったときは仕事や学校に行かず、他人への感染を避けるため接触を避けること。
- 豚肉や豚肉製品の摂取では豚インフルエンザには感染しない。
- 豚インフルエンザに関する情報はニューヨーク市衛生局及び CDC ウェブサイトで提供する。

From New York City Health Department

Facts about flu

<http://www.nyc.gov/html/doh/html/cd/cdinflu.shtml>

From Centers for Disease Control and Prevention

General information about swine flu

http://www.cdc.gov/swineflu/general_info.htm

Swine Flu Case Definitions

http://www.cdc.gov/swineflu/casedef_swineflu.htm

Swine Flu Infection Control and Patient Care

http://www.cdc.gov/swineflu/guidelines_infection_control.htm

Preventing the Flu

<http://www.cdc.gov/flu/protect/habits.htm>